

取組個票①5年間の取組全体概要

①取組名	取組10	交通空間の利活用交流推進
②対応する目標・課題	地域の福祉・介護	
③対応する評価指標・目標値	■評価指標:健康な高齢者の割合	■目標値:82.7%(H17年度)⇒80%以上(H28年度)
	■評価指標:介護保険在宅サービスを利用する高齢者の割合	■目標値:59.5%(H22年度)⇒65.0%(H28年度)
④取組内容 市内電車環状線沿線において、LRTや道路空間を利活用した地元地域によるイベントやオープンカフェ等を実施するとともに、ICTを活用し、まちあるき情報や公共交通機関のロケーション情報等を配信することにより、公共交通の利用促進やまちの賑わい創出を目指す。		
⑤エリア 市内電車環状線沿線		
⑥主体 地元商店会、自治会、富山市		
⑦活用した国等の制度 ICTを活用した情報発信に向けた実証実験:ICT街づくり推進事業(総務省)<H25年度>		
⑧地域の関与 【実績】・取組に対する富山市の支援等 ・地元企業等の負担		
⑨スケジュール		
23年度		
24年度	交通事業者と地域との連携内容の検討	
25年度	交通事業者と地域との連携内容の検討、イベントとの連携による賑わいづくりの実施、ICTを活用した情報発信に向けた実証実験	
26年度	交通事業者と地域との連携内容の検討、イベントとの連携による賑わいづくりの実施、ICTを活用した情報発信等を民間事業として継続実施	
27年度	交通事業者と地域との連携内容の検討、イベントとの連携による賑わいづくりの実施	
28年度	交通事業者と地域との連携内容の検討、イベントとの連携による賑わいづくりの実施	
29年度以降	交通事業者と地域との連携内容の検討、イベントとの連携による賑わいづくりの実施、イベント実施における交通規制の検討	
⑩他の取組との連携 取組名:ヘルシー&交流タウンの形成 連携内容:ヘルシー&交流タウンの形成にあたっては、安全・快適な歩行者ネットワークの形成と合わせて高齢者が歩いてみたくなるソフトな仕掛け・演出が必要なため、交通空間の利活用交流推進と連携して取組む。		
⑪自立・自律の方針・目標 ●公共空間の活用による賑わいの創出等の活性化 市民等が様々な形で道路空間を利活用することにより、まちの賑わいや新たな事業などが創出され、消費が促進されるとともに新たな雇用が生まれることを目指す。		